

ミヤマカラスアゲハの雌雄型

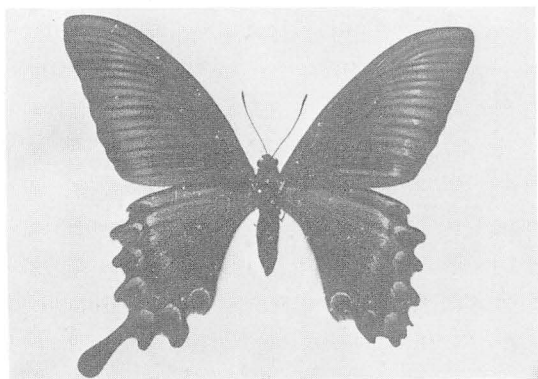
木村 三郎

1981年6月、宍粟郡波賀町の東山高原において採集した母蝶より採卵飼育したところ、蛹は殆んど7月～8月にかけて夏型として羽化してしまったが、一部の蛹が越冬し1982年5月に春型として羽化した。

その中に写真のようなミヤマカラスアゲハの雌雄型(性的モザイク型)が5月24日に羽化した。

前翅長54mmあり、雌の翅表で右前翅に♂の特徴を備えている。

兵庫県においては(シロチョウ科は報告がある)過去に報告を聞いた事がなく、珍しいと思われる。



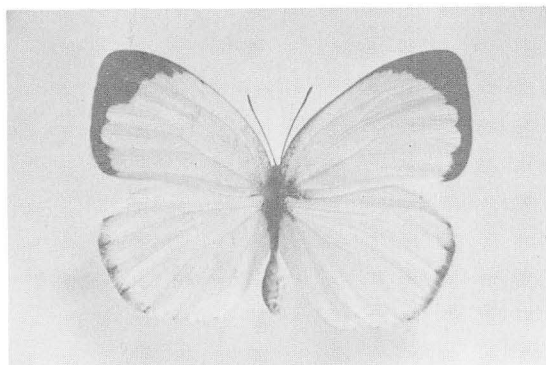
(S.03: Saburou Kimura 飾磨郡夢前町)

キチョウ雌雄型を再発見

相坂 耕作

1982年6月14日、姫路市の西蒲田においてキチョウの雌雄型を採集した。採集場所は「てんとうむしNo.7」で木村三郎氏が採集された雌雄型と同地であり、まさかと思って採集したが、2匹目のどじょうとなったわけである。しかし今回は完全分離型であり、木村氏のモザイク型の雌雄型ではない。何かこの地に雌雄型の因子があるのかも判らない。ちなみに兵庫県下でのキチョウの雌雄型は数多い。上記の他、宍粟郡安富町三坂で完全分離型1981年6月23日・木村三郎氏。相生市矢野町小河で秋型の完全分離型1977年9月15日・入江照夫氏。佐用郡佐用町福沢栗園で完全分離型の夏型1979年7月1日に筆者が得ている。何と西播地方で5頭目である。

左翅が♀、右翅が♂となっている。



Data

姫路市西蒲田 完全分離雌雄型 14-VI-1982

相坂耕作 採蔵

(S.05: Kousaku Aisaka 姫路市)

シルビヤシジミの新産地

石井 為久

県下のシルビヤシジミの記録は、てんとうむしNo.6で、広畑氏が発表されていますが、神崎郡は空白となっています。1982年春より調査したところ、以下の産地を発見したので報告します。

神崎郡市川町上田	2♂	1982-V-9
〃 〃 〃	1♂ 1♀	1982-VII-19
〃 福崎町神谷	2♂	1982-V-5
〃 〃 〃	1♀	1982-VII-19
〃 香寺町矢田部	1♂	1982-V-9

(S.15: Tamehisa Ishii 神崎郡福崎町)

中町安坂でエゾスジグロシロチョウを採集

広畑 政己

1982年4月17日に多可郡中町安坂で本種の雄1頭を採集したので報告しておく。近隣では西脇市の野村、出合、平野と黒田庄町門柳に記録があるが、中町では初記録である。

(S.28: Masami Hirohata 姫路市)